

第10回 福島県失語症者のつどい



平成29年10月7日に第10回福島県失語症者のつどいが白河で開催され、77名（うちスタッフ17名、学生ボランティア14名）の参加者が集いました。白河市のマスコット「しらかわん」も駆け付け、会は和やかな雰囲気になりました。

つどいでは体験発表やだるまの絵付け、クイズ、歌などを楽しみました。だるまの絵付けではだるま屋さんがだるまのパーツの意味を説明して下さい、皆さん真剣に聞き入っていました。まゆ毛や目入れも願いを込めて丁寧に描いていました。クイズではしらかわんと白河の名所を訪れた気分になりました。そして歌唱では県南STと相澤先生がSMAPに扮し「世界にひとつだけの花」を披露し、最後には皆で大合唱し会場が一体感に包まれました。当事者の親睦を深め、楽しく交流でき、白河の魅力もお届けできたと思います。

今回は節目の10回目でした。10回目ともなると顔見知りも増え「あっ 元気でしたか？」「久しぶり」など声をかけあう様子もみられ、嬉しい気持ちになりました。皆さん健康で、11回目もお会いできる日を楽しみにしています。 実行委員長：中村

